

ラ・アトレ、日本ホスピス、リエゾンの2社と 業務協力契約を締結

LAホールディングス <https://lahd.co.jp/> ラ・アトレ <http://www.lattrait.co.jp/>

(株) LAホールディングスの子会社である(株)ラ・アトレおよび(株)LAアセットは8月、日本ホスピスホールディングス(株)とリエゾン・パートナーズ(株)との間で業務協力契約を締結したことを発表した。

LAホールディングスは、ヘルスケア施設を計8棟保有。日本ホスピスは計16棟のホスピス住宅を展開している。リエゾンは、LAホールディングスが高齢者住宅事業分野に参入した2015年3月より、ヘルスケア施設取得に際してのスキーム構築や、事業モニタリングなどのアドバイザーを務めている。

このほど、LAホールディングスは、日本ホスピスが手掛ける名古屋市名東区のホスピス住宅の設計・開発段階から関与することとなった。今回の業務協力契約締結は、日本ホスピス、リエゾンと5年間にわたる協働で培ってきた3社の信頼関係をより強固にするのが狙い。LAホールディングスが日本ホスピスの同事業展開における不動産情報入手から保有までをサポートし、リエゾンが取得時から運営期間中のアドバイザリー業務を担うことで、3社協働でホスピス住宅事業を手掛けていくことも目的としている。